

【キャリア形成学部 キャリア形成学科】カリキュラムマップ(2023年度入学生用)

授与する学位:学士(教養)		ディプロマ・ポリシー														
知識・理解	幅広い視野	DP1: 人、自然、環境、社会、地域、国際について幅広い教養を有している DP2: 人社会について適切な知識や理解、そして技術を有している DP3: 幅広い視野をもって合理的・批判的に判断できる														
		DP4: 適切な日本語運用力を修得し、活用することができる DP5: 母語以外の特定の外国語について基礎的なスキルを修得し、活用することができる DP6: 基礎的ICTの知識・スキルを修得し、適切に活用することができる DP7: 数的データを含む多様な情報を適切に収集・分析し活用することができる														
態度・志向性	豊かな人間性	DP8: 仏教精神を理解し、自らの理解・判断・行動を見つめ直す姿勢を身につけている DP9: 多様性の尊重と共生の精神を有している DP10: 日本の伝統文化を深く理解し、その成果を自分の生活に生かすことができる														
	態度・志向性	DP11: 高い倫理観を持ち、思いやりの心を忘れずに他者と接することができる DP12: 人社会に対する領域横断的な知識・理解・技能等に基づき、対話や議論を重視し、他者・他文化との相互理解に努めることができる DP13: 人社会に対する領域横断的な知識・理解・技能等を活用して、社会に参画する態度を有している														
統合的な学習経験と創造的思考力		DP14: 自らの生涯を見通す視野を持ち生涯を通じて学び続け、キャリア形成をする力を備えている DP15: 現代社会の諸問題を解決するために、人社会に対する専門的知識と技能を活用し、問題解決に実践的に取り組むことができる														
学科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号													
			O: DP達成のために設定された到達目標と関連性がある (※1つの達成目標に対して最大3個まで)													
DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15		
女性の生き方・働き方	卒業生たちによる講演を通して、女性を取り巻く社会環境と多様なキャリアを知る	1. 他者の生き方を好意的に受け入れる力を身につける														
		2. 女性を取り巻く社会環境を理解している														
		3. キャリアビジョンをまとめる														
女性と現代社会	女性を取り巻く社会の現状を理解し、キャリア形成に必要なスキルを身につける	1. 女性の現状をデータに基づき理解している														
		2. 女性を取り巻く法律を理解している														
		3. 男女共同参画の理念を理解し活用することができる														
女性と経済	女性が自らの生涯設計をたてていくために必要となる経済および金融に関する知識を学ぶ	1. 収支管理の必要性とライフプラン実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している														
		2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる														
		3. Excelを用いて「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成し、金利計算ができる														
女性とメディカル	健康的に生活するために必要な医療の基礎知識と各種医療系資格取得のための専門知識について学ぶ	1. 各ライフステージにおける健康に関する知識を理解している														
		2. 生活と医療をつなぐ仕組みについて理解している														
		3. 各種医療系資格の基礎知識を身につける														
女性のキャリア形成	自己理解、キャリア理解、仕事理解を通じてキャリアイメージを獲得する	1. 決められた条件で自己紹介をまとめ、周囲に的確に伝えることができる														
		2. 自分の長所・短所を理解し、モチベーションを維持する														
		3. 目標達成に向けた具体的な行動計画をたてて実行する														
女性のアントレプレナーシップ	事業創造・実践に関する概念や関連知識を幅広く学び「企業家精神」を養う	1. 経営資源・投資対効果といった事業創造や実践に必要な関連知識を理解している														
		2. 新たなビジネスアイデアの発想に繋げるための視点や必要な知識を理解している														
		3. 企業家として求められる意識や精神がどのようなものであるかを理解している														
基礎ゼミⅠ	人間関係の形成、大学での授業理解の促進、学びや体験の記録する	1. クラスメートや担当教員などとの人間関係の形成する														
		2. 大学で学習するにあたって欠くことができない技術を身につける														
		3. 授業内外の学びや体験を記録する														
基礎ゼミⅡ	授業で修得した技術や知識の活用法を身につける、学びや体験による成長の記録を振り返る	1. グループワークを通して、問題発見解決能力の基礎力向上させる														
		2. 問題発見解決能力の基礎力向上のために、研究レポートを作成する														
		3. キャリア形成学科の専門領域の広がり理解している														
発展ゼミⅠ	情報の収集・整理し、批判的に検討する力を身につける	1. 文献を読み、理解してまとめ、内容を他者に伝えることができる														
		2. 論理的に思考することができる														
		3. 自らの考え方や行動を見つめ直すことができる														
発展ゼミⅡ	これまでの学びをもとに実践力を身につける	1. 課題に対して主体的に取り組むことができる														
		2. 成果物をつくることができる														
		3. 専門分野を見つけてモチベーションを高める														
応用ゼミⅠ	専門分野のテーマに関して、論理的に考え、問題発見して解決する方法を身につける	1. 専門分野のテーマについて、問題を発見できる														
		2. 取り組む問題に関する専門知識を身につける														
		3. 取り組む問題に関する解決方法を身につける														
応用ゼミⅡ	専門分野のテーマに関して、問題発見・解決した成果をまとめて発表する	1. 取組んだ専門分野の問題発見・解決の成果を報告書にまとめることができる														
		2. 成果を分かりやすく発表できる														
		3. 取り上げたテーマについて、さらに取り組むべき内容と方法を説明できる														
卒業研究Ⅰ	研究テーマと研究計画を定め、必要な資料・データを収集する	1. 取り組むべきテーマを具体的に設定できる														
		2. 必要な研究方法を用いた研究計画を立てることができる														
		3. 必要な情報を収集し、当該研究分野を概観することができる														
卒業研究Ⅱ	卒業論文の作成と発表を通して4年間の学びを完成させる	1. 客観的な知見をもとに自らの見解をもち、論理的に表現することができる														
		2. 研究成果を他者に分かりやすく説明することができる														
		3. 主体的に学ぶことの価値を理解し、生涯学習へつなげることができる														
経営学のための数学基礎	ビジネスで必要になる基礎的な計算能力と数的思考能力を身につける。	1. データやグラフの意味を正確に把握することができる														
		2. 利益計算などビジネスで必要となる基礎的な計算ができる														
		3. 経営学などの分野で用いられる数学的な考え方の基礎を理解している														
ロジカルシンキング	情報を論理的に読解・思考して表現するための技法と表現力を修得する	1. ロジカルシンキングの技法を理解している														
		2. ロジカルシンキングの技法をレポート作成に活用できる														
		3. ロジカルシンキングの技法のプレゼンテーションに活用できる														
現代社会と経営	現代社会の重要なテーマを多様な視点から取り上げ、キャリア形成学科における学びについて考える	1. 現代社会を読み解く上で必要な経営の考え方の基礎を理解している														
		2. 社会現象を経営学の視点から捉えることができる														
		3. 社会への自らの関わり方に関心を持つ														
経営入門	経営学の基本的な考え方を学び、社会や生活との関連を知る	1. 経営学に関する基礎的な知識を得る														
		2. 経営学が対象とする視野の広さ、複合的な視点を理解している														
		3. 経営学がわれわれの社会や生活にどのように関係しているのか、理解を深める														
ビジネス・マネジメント原論	民間企業(営利企業)における一般的なビジネス活動全般に関する幅広い知識を修得する	1. ビジネス・マネジメントがカバーする範囲の全体像とサービス・マネジメント、ソーシャル・マネジメントとの関係を把握できる														
		2. 企業のビジネス活動を経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の利用・活用の視点で捉えることができる														
		3. 国内におけるビジネスを支える主要業種、特に製造業・流通業・サービス業の概要・動向等の全体像を掴むことができる														
サービス・マネジメント原論	サービスの特性や顧客満足について知り、各種サービス組織で働く人々が、やり甲斐や成長を感じ、効率性を高めるマネジメントの仕組みについて学ぶ	1. サービスの特性について理解している														
		2. 顧客満足や顧客ロイヤリティについて理解している														
		3. 各種業界の実践事例からサービス組織のマネジメントを理解している														
ソーシャル・マネジメント原論	社会(ソーシャル)の問題解決を目的とする諸活動を概観し、ソーシャル・マネジメントの基礎的な概念を学ぶ	1. ソーシャル・マネジメントの基礎概念を理解している														
		2. 主体の違いによるソーシャル・マネジメントの差異や特徴を理解している														
		3. 自らの生活の中にあるソーシャル・マネジメントを説明できる														

学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到達 目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある（※1つの達成目標に対して最大3個まで）														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
地域参加	大学の使命である「地域貢献」について考え、その実践のための基礎知識を習得する	1. 大学のある地域の活動を知る	○								○						
		2. チーム活動に必要な基礎知識を習得する											○	○			
		3. チームで地域参加を体験する											○	○			
プロジェクト入門	プロジェクトマネジメントの基礎知識を学び、チーム活動によってプロジェクトを実践し、その結果を考察する	1. プロジェクトマネジメントの基礎知識を習得する	○	○													
		2. プロジェクトの重要な成果物を創出する			○			○					○				
		3. プロジェクトの実践結果を考察し、改善提案と教訓を導き出す							○				○				
プロジェクト実践	プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用し、企業や社会などの課題を解決するプロジェクトを実践する	1. プロジェクトマネジメントの知識・スキルを活用し、企業や社会の課題を解決するためのプロジェクトを実践する	○	○													
		2. 各自の役割を理解し、チームで実行することができる									○		○				○
		3. プロジェクト実施後に分析・評価するための情報を収集することができる						○	○								○
プロジェクト評価	プロジェクトの実践結果を分析評価し、教訓と改善提案を導き出す	1. プロジェクトの実践結果を分析・評価し、深く考察することができる						○	○	○							
		2. プロジェクトの考察結果を元に教訓を導き出すことができる			○						○				○		
		3. プロジェクトの考察結果を元に改善計画を立案することができる							○		○						○
専門実習 （長期インターンシップ）	企業・自治体・NPOなどでの現場実習を通じて専門知識を実践、統合する	1. 講義やプロジェクトなどで得た知識やスキルを「現場」で活用する		○				○									
		2. 「現場」で求められる能力を理解している			○	○							○				
		3. 実習を通じて、組織活動における自らの強みと課題を把握する									○						○
経営学	経営・マネジメントの基本と応用について、現実社会の動向を踏まえて考察し、理解を深める	1. 経営学の全体像について理解している		○	○								○				
		2. 企業と市場との関わりという概念と具体的な事例について理解している		○	○												
		3. 経営戦略やマネジメントという概念と具体的な事例について理解している		○							○						
会計学	簿記の体系的な仕組みやその基本となる財務諸表を通じて、経済活動に実際に役立てられる能力と態度を養う	1. 貸借対照表・損益計算書といった財務諸表の作成とそれらの分析について理解している													○		
		2. グローバル化への対応、キャッシュフロー、監査等財務会計の応用について理解している			○										○		
		3. 経営目的達成のための活動計画の設定と経営意思決定に関わる管理会計の概要について理解している			○	○									○		
経済学	経済の理論や仕組みの基本と応用について、現実社会の動向を踏まえて考察し、理解を深める	1. ミクロ経済学の基本的理論を理解している		○	○												
		2. マクロ経済学の基本的理論を理解している		○	○												
		3. 産業、経済に関わる諸問題について、経済学の視点から考えることができる			○	○											
マーケティング	マーケティング理論・技法の基本から応用まで理解を深め実践場面で活用法を考察する	1. マーケティングに関する用語と基本から応用的な理論を理解している		○	○												
		2. マーケティング理論・技法を通して消費者行動を社会情勢として考察できる			○												
		3. マーケティング理論・技法を通して企業の経営戦略と社会貢献を考察できる			○											○	○
経営戦略	経営戦略の基礎的な考え方を扱うとともに、企業が実際にとっている経営戦略を学ぶ	1. 経営戦略における代表的な概念について基本的な考え方を理解している			○												
		2. 経営戦略の視点から実際の企業の事例を考察できる			○												○
		3. 新聞やニュース番組のビジネス報道についておおよそ理解している			○										○		
組織とヒューマンリソース	経営組織、モチベーション、リーダーシップをとりあげ、「人的資源」を活かす組織のあり方や新しい組織形態等について学ぶ	1. 組織論の考え方を、組織を構成する「人間」という視点を中心に理解している		○	○												
		2. 人的資源管理、人事制度、雇用管理などのシステムについて理解している			○	○											
		3. リーダーシップ、モチベーション、メンタルヘルスなど人間にまつわる諸問題について理解している			○	○								○			
経営情報	経営上の問題解決とそれらを実現するためのテクノロジーを考察し、理解を深める	1. ビジネスとICT（情報通信技術）の関わりについて理解している			○												
		2. 経営情報システムを実現する具体的なICTの要素技術について理解している			○												
		3. ビジネス・プロセスに注目した業務改革の具体的な事例を理解している			○										○		○
消費者心理学	消費者行動の理論とそのマーケティングへの応用について学ぶ	1. 消費者行動と購買意思決定過程モデルについて理解している			○	○											
		2. 消費者の満足・不満足について、購買意思決定過程モデルから検討することができる			○	○											
		3. 社会的文化的状況下において集団と個人から影響をうける消費者行動について理解している			○	○											
経営法務	経営・ビジネスに関わる法規・法律について、経済活動やビジネスの視点からのケーススタディ等を通じて幅広く考察する	1. 経営・ビジネスに関連する法律の体系および概要について理解している			○										○		
		2. 法的に物事を捉え、考える態度を身につける			○										○		
		3. コンプライアンス・法令遵守という考え方を体感的に理解している			○										○		
金融ビジネス	直接金融と間接金融を含む金融という概念全般を理解し、金融業界に含まれる企業とその具体的な業務をビジネスという観点で捉える	1. 金融の概念とこれまでの発展・進化についての概要を理解している			○												
		2. 金融業界に含まれる企業の種類・概要・ビジネスモデルについて理解している			○												
		3. 金融業界を取り巻く新たな課題や技術革新がもたらす今後の動向等について理解している			○										○		○
流通ビジネス	流通の役割・機能・仕組みという概念全般を理解し、流通業界に含まれる企業とその具体的な業務・業態をビジネスという観点で捉える	1. 流通の概念とこれまでの発展・進化についての概要を理解している			○												
		2. 流通業界に含まれる企業の種類・概要・ビジネスモデルについて理解している			○												
		3. 流通業界を取り巻く新たな課題や技術革新がもたらす今後の動向等について理解している			○										○		○
ロジスティクス	現代のロジスティクスの全体像を幅広く把握出来るための基本的な知識を体系的に学ぶ	1. ビジネス活動を展開する上で、ロジスティクスが必要不可欠なものであることを理解している			○												
		2. 経営戦略の一環として、戦略的なロジスティクスを実践する企業の取り組みについて理解している			○												
		3. ロジスティクスに関する最新の動向や具体的な事例について理解している			○										○		○
スモールビジネス演習	起業や新規事業の立ち上げに必要な知識や視点を身につける。そのうえでビジネスプランを作成する	1. 起業や新規事業の立ち上げに必要な基礎知識が身につける			○											○	
		2. 社会状況を分析し、そこから新たなビジネスを構想する力を習得する			○	○										○	
		3. 起業プロセスを理解し、具体的なビジネスプランを設計できる													○	○	○
ビジネスマナー	社会人としての基本的な知識、判断や行動が出来るようにビジネス実務を学び演習を行う	1. 社会人に必要なビジネスマナーを身につける			○								○				
		2. 仕事のルール、チームでの働き方を身につける												○	○		
		3. 良好な人間関係を築くことができる														○	
簿記・会計実務 （決算と財務諸表）	簿記の基礎となる個人商店を対象とした商業簿記を学習する	1. 企業活動におけるお金の流れを読むスキルが身につける			○												
		2. 企業活動における決算書を作成することができる			○				○								
		3. 日商簿記検定3級レベルの基本的な知識を身につける														○	
簿記・会計実務 （財務諸表の分析）	財務諸表に関する知識を活用し、“企業の体力”や“社会の動き”を分析する能力を養う	1. キャッシュフロー計算書の構造と読み方を理解している			○												
		2. 財務諸表の基本的な分析を行うことができ、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる							○								
		3. 日商簿記検定3級に合格できる程度の知識が身につける														○	
ファイナンシャル・プランニング（将来設計）	ファイナンシャル・プランニングの必要な知識である家計にかかわる住宅ローン、教育資金、年金制度、保険、税制など幅広い知識を学習する	1. ライフプランニングの知識を身につける														○	
		2. リスク管理の知識を身につける			○												
		3. タックスプランニングの知識を身につける			○												
ファイナンシャル・プランニング（資産運用）	ファイナンシャル・プランナーにとって必要な知識である家計にかかわる金融、不動産、相続など幅広い知識を学習する	1. 金融資産運用の知識を身につける			○												
		2. 不動産の知識を身につける														○	
		3. 相続の知識を身につける														○	
ビジネスデータ分析基礎	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」の習得	1. 記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる			○			○	○								
		2. Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる			○			○	○								
		3. インターネットから公的統計データ等入手し、適切に活用することができる				○		○									
ビジネスデータ分析応用	ビジネスや自治体の現場で効率的にデータ可視化や分析を行い、他者に伝えるための技法を学ぶ	1. BI（ビジネスインテリジェンス）ツールを用いて、簡単な図表の作成や集計ができる						○	○								
		2. BIツールを用いて、可視化によるデータの探索ができる						○	○								
		3. BIツールを用いて、目的に応じたダッシュボードを適切に作成できる						○	○								○

学科科目	科目の主題	科目の到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			〇：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある（※1つの達成目標に対して最大3個まで）														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
テキストマイニング	アンケート調査の自由記述データ、クオミデータなどの二次データを、テキストマイニングにより計量テキスト分析を行い、その分析結果をレポートにまとめる	1. 自然言語と自然言語処理による計量テキスト分析の基礎を理解している		○													
		2. 二次データとしてテキストデータを収集し、テキストマイニングにより的確に計量テキスト分析できる		○				○	○								
		3. 計量テキスト分析の結果を分かりやすくレポートにまとめることができる		○	○									○			
データサイエンス実践	推測統計の基本的な考え方を学び、統計解析ソフトウェアを用いて実践的なデータ分析演習に取り組む	1. 統計分析ソフトウェアを用いて、記述統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる		○				○	○								
		2. 推測統計の基本的な考え方を説明することができる		○													
		3. 統計分析ソフトウェアを用いて、t検定、相関分析、カイニ乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる		○					○					○			
データサイエンス発展	多変量解析の基礎を学び、卒業研究等が必要となる統計的データ処理を正確に実行するための技術を習得する	1. 因子分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○				○	○								
		2. 重回帰分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○				○	○	○							
		3. クラスタ分析を適切に行い、分析結果を正しく評価することができる		○				○	○								
広報企画デザイン	商品やサービスの広報に必要な基礎知識を習得し、広報企画デザインの制作に取り組む	1. 広報や企画の概要を理解している		○													
		2. 広報に必要な画像や動画撮影、デザインを企画できる	○	○				○									
		3. 制作した成果物を要約し、適切に発表することができる				○											
色彩とデザイン	色彩の基本理論と配色について学び、デザインにおける色彩の役割と効果について理解を深める	1. 色彩の基本理論と配色についての知識を習得する	○	○													
		2. カラーコーディネートによる視覚的、心理的效果を理解している		○						○					○		
		3. グラフィックデザインにおける色彩の専門知識を習得する		○										○			○
グラフィックデザイン	デジタルツールによる画像処理および印刷の基礎知識と技術を修得する	1. アプリケーションを使用し、写真の編集ができる		○				○									
		2. デジタルツールによるイラストを作成できる		○				○									
		3. 印刷物ができるまでのプロセスを理解し、印刷用データを作成できる		○				○									
ビジュアルデザイン	ビジュアルコミュニケーションの基礎知識と技術を修得する	1. 視覚的伝達力＝企画・表現・コミュニケーションの能力を高める		○													
		2. デジタルツールで表示するためのデザインを理解している						○									
		3. スマホのアプリを横断的に活用できる						○									
ユニバーサルデザイン	衣・食・住のすべてにおけるユニバーサルデザインの基礎知識と幅広い視野による思考力を修得する	1. ユニバーサルデザインの基礎知識を理解している	○	○							○						
		2. 生活環境とデザインの相関関係を理解している		○	○					○							
		3. 他者の視点に立って、より良い社会のためのデザインについて提案できる			○									○			○
デジタルメディア	動画制作および情報発信の専門知識と技術を修得する	1. 情報発信に必要な知識と技術を理解している		○				○									
		2. 動画制作の専門的知識および技術を修得する		○				○									
		3. スマホの動画の撮影及び編集APPを活用する						○									○
アパレルプランニング	アパレル商品企画のトレンド情報やプランニングの基本プロセスを理解し、アイテム制作の製図から縫製までの技術を習得する	1. アパレルの商品企画について基本プロセスを理解している													○	○	
		2. パターン作成から縫製までの一連の流れを理解している													○		
		3. マイブランドのアイテムをプランニングし提案できる												○	○	○	
ファッションビジネス	ファッションビジネスの特性と構造や、アパレル業界の専門職について理解し、アパレルマーケティングについて学ぶ	1. アパレル産業の特性と構造を理解している		○											○		
		2. アパレル業界の変遷と専門職について理解している								○					○	○	
		3. アパレルマーケティングについて理解している		○	○										○		
ファッション企画演習	最新のトレンド情報を収集した上で、オリジナルブランドを設定し、各種アイテムのハンガーイラストからコーディネート企画提案までを学ぶ	1. 海外や国内の市場調査とマーケティングについて理解している		○			○								○		
		2. シルエットやディテールをスケッチし、ハンガーイラストが描ける		○										○	○		
		3. オリジナルブランドのコーディネート企画を提案できる													○	○	
ブランドデザイン	各種業界におけるブランドデザインの基礎的な知識とブランディング技法について学ぶ	1. ブランドデザインの基礎知識について理解している	○				○										○
		2. 各種業界のブランドヒストリーについて理解している		○											○	○	
		3. 拡張ブランドを企画提案しプレゼンテーションできる												○		○	
ショップデザイン	VMD(ビジュアル・マーチャン・ダイジング)の基礎を理解し、ショップでの演出や陳列の理論を学んだ上で、商品コンセプトに沿ったショップをデザインし店舗設計の基礎的な技術を学ぶ	1. VMDによるショップの演出や陳列の理論を理解している		○											○		
		2. コンセプトに沿ったショップのデザインに取り組むことができる		○		○	○								○		○
		3. 店舗設計の基礎的な技術を理解しプレゼンテーションできる		○											○		○
ブライダルビジネス	ブライダルの基礎知識をふまえ、マーケットの現状をビジネス的に学ぶ。	1. ブライダルビジネスの基礎知識を理解している	○													○	
		2. ブライダルマーケットの仕組みおよび現状を理解している		○											○		
		3. 習得した基礎知識をもとに今後の婚礼の在り方を理解している														○	
ブライダル企画演習	婚礼ビジネスのトレンド情報を収集しオリジナルの婚礼を企画した上で、各種アイテムを制作することで総合的なプロデュースに取り組む。	1. 海外や国内のブライダル市場の現状を理解している	○				○										
		2. オリジナルの婚礼企画を提案できる													○	○	
		3. ブライダルアイテムを制作し総合的なプロデュースができる		○											○	○	
ブライダル実務	ブライダルマーケットに関する知識を深め、ビジネスの視点から婚礼実務を実務レベルで理解する	1. ブライダルマーケットの現状と今後の展望について理解している	○														○
		2. 婚礼実務の知識を実務レベルで理解している		○											○		○
		3. 接客に必要なマナーや接客、求められる接客スキルについて理解している											○	○	○		
ブライダルコーディネート	ブライダル業界に就くために必要な知識や接客技術を学び、ブライダルコーディネーター技能検定3級(国家検定)の試験対策に取り組む	1. ブライダル業界の専門知識と婚礼に関する演習問題を解くことができる	○													○	
		2. 和・洋の披露宴やコーディネート業務を理解し演習問題を解くことができる						○									○
		3. ブライダルコーディネーター技能検定の実技試験に取り組むことができる												○		○	○
インテリアプランニング	住生活を快適に過ごすための専門知識を理解し、各世代の生活者ニーズにあった住空間やインテリアを提案する	1. 快適な住生活のための専門知識について理解している		○											○		
		2. 住み心地の良い住空間とインテリアについて理解している		○											○		
		3. 生活者のニーズにあった住空間(和・洋)とインテリアを提案できる					○				○					○	
インテリアビジネス	インテリアビジネスの特性について理解し、住空間を構成するインテリア要素の特性やライフスタイルに合わせた住空間について学ぶ。	1. インテリアビジネスの特性について理解できる		○											○		
		2. 住空間(和・洋)のインテリア要素の流通について理解している		○							○				○		
		3. ライフスタイルによる快適な住空間について提案できる		○												○	○
インテリア企画演習	室内空間を描くのに適した透視図法や着色について理解し、インテリアパースの描き方の基本について学ぶ。	1. 室内空間の描き方の基本について理解している		○											○		
		2. インテリア要素の描き方やパーススキルについて理解している		○											○		
		3. コンセプトに沿ったインテリアプランを提案できる		○												○	○
インテリア計画	住宅のインテリアを構成する家具、カーテン、装飾、照明、床材、設備などの要素を組みあわせ、適切な配置について学ぶ	1. インテリアの歴史の概略を理解している	○	○											○		
		2. インテリアデザインの空間構成と寸法、色彩、照明について理解している		○											○	○	
		3. インテリアデザインの環境、設備、材料、構造、法規について理解している		○											○	○	
住空間コーディネート	住居の歴史や住居空間の構成に必要な構造、環境、色彩、人間工学などを習得した上で、暮らしの視点から住空間のコーディネートについて基礎知識を学ぶ	1. 日本や海外の住居や居住環境の基礎的情報について理解している	○				○					○					
		2. 住居の構造、環境工学、設備などの基礎について理解している		○											○	○	
		3. 住空間における人間工学やインテリア計画などについて理解している		○													○
宅地と建物	不動産を取り巻く現状および土地や建物の売買や賃貸物件の轉讓など不動産の取引業務に必要な基礎知識について学ぶ	1. 土地や建物に関する基礎的な知識が理解している		○											○		
		2. 不動産に関係する法令について理解している		○											○		○
		3. 宅地建物取引業についての基本的な知識を理解している		○											○	○	
サービスプランニング	観光業や運輸サービス業、接客業などのサービス業にとって不可欠なノウハウや対人対応力を高めると同時に、ホスピタリティ・マインドを涵養する	1. ホスピタリティ・マインドについて理解している		○											○		
		2. 顧客のニーズを読み取ったツアープランニングの力を身につける		○											○		○
		3. ツアーガイド、ホテルや施設のフロント・レセプション等観光関連のサービス業の接客マナーや対応力について学びを深める												○	○		
観光ビジネス	観光に関わるビジネスについて基礎的な理解を深め、観光マネジメントについて各種観光事業ごとに学ぶ	1. 観光ビジネスについての基礎知識を理解している	○				○	○									
		2. 各種観光事業におけるマネジメントを理解している			○										○		
		3. 観光分野主要資格試験の知識を身につける		○													○

学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到達 目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある（※1つの達成目標に対して最大3個まで）														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
観光資源	国内および海外の各種観光資源についての基礎知識を理解するとともに、資源の活用の方針について学ぶ	1. 観光地、テーマパークなどの観光資源について理解している						○		○				○			
		2. ビジネスとしての観光資源の活用および観光業務の契約や約款について理解している													○		
		3. 海外・国内旅行およびインバウンド観光の特性を理解している	○				○				○						
観光地理	観光分野の資格取得も意識しながら、主要観光地の地勢、歴史、交通機関および観光資源に関する基本知識を修得する	1. 主要観光地の地理、歴史、交通機関に関する基本知識を理解している	○						○								
		2. 主要観光地の観光資源に関する基本知識を理解している					○					○		○			
		3. 観光分野主要資格試験の知識を身につけている						○							○		
国内旅行の取扱管理 (法務・約款)	国家資格である国内旅行業務取扱管理者の資格取得に向け、必要な基礎知識を修得する	1. 国内旅行業務取扱管理者の資格の意義を理解している														○	
		2. 旅行業法、旅行業約款など各種約款に関する基礎知識を理解している		○													
		3. 旅行契約において消費者に係わる具体的事例について理解している									○						
国内旅行の取扱管理 (旅行実務)	国内旅行業務取扱管理者の試験に合格できる約款や観光業に関する専門的知識を学ぶ	1. 日本全国47都道府県の観光資源について理解している	○														
		2. 国内観光地理に関し、試験に対応できる専門知識を習得し、説明できる										○				○	
		3. 国内旅行の宿泊、運賃計算などに関し、試験に対応できる知識を身につけている														○	
食文化・フードビジネス	料理概論を広く理解し、調理の基礎知識、食材の知識を理解する	1. 日本、西洋、中国料理、洋菓子の食文化について理解している	○									○			○		
		2. 食材料（野菜、魚介類、肉類、調味料、その他）について理解している		○												○	
		3. Food marketingについて理解している													○		○
食文化演習	日本料理、西洋料理、中華料理など世界の食文化や調理法を理解した上で、オリジナルメニューを調理し演出する	1. 食文化に基づく世界の料理様式を理解している	○				○					○					
		2. 栄養素の知識やカロリー計算をもとに料理レシピを企画できる		○												○	
		3. オリジナルメニューを提案し、調理や色どりよい盛り付けができる		○												○	
食空間コーディネート	食空間演出の基礎知識を理解した上で、季節感のあるテーブルコーディネートの基本を身につける	1. 和食、西洋料理、中華料理の基本セッティングができる	○									○			○		
		2. シーンに合わせた演出やカラー特性を生かしたコーディネートができる		○											○		
		3. 各種パーティーのプランニングやテーブルコーディネートができる		○											○		
食マーケティング論	食品の消費と流通について理解する	1. 食生活の変遷について理解している	○	○													
		2. フードマーケティングと食品流通について理解している		○													
		3. 食品市場と食品流通、食品消費について理解している		○													
化粧と心理	化粧行動による心理的效果を理解し、化粧材と化粧道具を用いた美容技術を習得することで、美に対する自己啓発を行う。	1. 化粧行動による心理的效果について理解している	○												○		
		2. 化粧道具と化粧材についての知識を理解している		○												○	
		3. 効果的な美容技術を習得し自己啓発ができる													○		○
化粧の科学	肌の基本構造を理解し、化粧品の構成成分と肌の関連を知ること、健康的な肌の維持管理やアンチエイジングについて学ぶ	1. 肌の基本構造について理解している	○														
		2. 基礎化粧品の基本成分について理解している		○											○		
		3. 健康的な肌を維持管理する理論と技術を理解している		○											○		
医薬品管理	登録販売者として必要な、人体の働きと医薬品についての知識及び技術を学ぶ	1. 医薬品に共通する特性と基本的な事項を理解している		○												○	
		2. 身体構造、薬の働く仕組み、副作用に関する基本的な事項を理解している		○												○	
		3. 主な一般用医薬品とその作用について理解している		○												○	
販売登録者実務	登録販売者として必要な、薬事関係法規・制度および医薬品の適正使用・安全対策について学ぶ	1. 一般用医薬品の販売・授与に関連する法令・制度の仕組みを理解している		○										○			
		2. 医薬品の適正使用、安全対策、健康被害救済制度について理解し、説明できる		○		○											
		3. 医薬品に共通する特性や主な医薬品の作用について説明できる		○		○								○			
フィールドスタディ	地域の活性化や地域社会が抱える課題の解決に向けて、現地訪問と調査を行うて提案する	1. 地域の現状と課題を理解している	○	○													
		2. 地域課題解決の展望を拓くことができる													○	○	
		3. 他者の話を理解し、同時に自らの考えを伝え、グループごとで地域での発見と課題解決プロセスを発表できる											○	○			○
ソーシャルビジネス	社会問題の解決に取り組むソーシャルビジネス(NPOや社会的企業等による実践)の可能性と課題を理解する	1. ソーシャルビジネスの特徴や手法、現代社会における意義や役割を理解している		○										○			
		2. ソーシャルビジネスの可能性と課題を理解している		○	○												
		3. ソーシャルビジネスの担い手として自らを捉え、関わり方について自分なりのイメージを持っている													○	○	○
企業の社会的責任	企業の社会的責任について学び、長期にわたって企業が持続的に発展することができる経営戦略について考察し、理解を深める	1. 企業の社会的責任という概念について、環境・経済・社会の側面から理解している		○											○		
		2. 企業と社会との持続可能な関係を、主なステークホルダーの立場から理解している		○											○		○
		3. 企業がCSR経営を実施し、評価を受ける際の基本的な方法と具体的な事例を理解している		○											○		○
現代社会とリスク管理	生活の中で起こりうるリスク(災害、犯罪、事故など)をデータをもとに正しく認識し、その備えについて考える	1. リスクの本質が不確実性にあることから生じる問題であることを理解している		○													
		2. 生活あるいは生活者の視点からリスク管理の必要性を理解している		○											○		
		3. 現代社会の中にある多様なリスクを正しく認識し、そのリスクに対して適切に備えることができる														○	○
社会と環境	多様な環境問題を理解した上で、地域の特色に応じた持続可能な環境まちづくりについて学ぶ	1. 私たちの生活に関係する身近な環境問題について理解している	○								○						
		2. 環境に配慮したまちづくりの具体的な実践例を理解している				○								○			
		3. 地域の特色に応じた持続可能な環境まちづくりを提案することができる												○			○
多文化共生社会	文化に関する基礎理論を学び、多文化共生社会についての理解を深める	1. 多文化共生社会とは何かを理解している	○	○							○						
		2. 多文化化が進む日本の政策と実情を理解している	○	○							○						
		3. マイノリティ支援の豊富な実践例を紹介することができる		○							○		○				
社会とジェンダー	日常生活の様々な場面でどのようにジェンダーが構築されているか実践的に学ぶ	1. 文化と社会におけるジェンダーの構築について意識を高める	○	○	○												
		2. ジェンダー問題の国際比較をし、諸外国の現状を理解しているようになる		○							○			○			
		3. ジェンダーに関する問題を発見、調査し、プレゼンテーションすることができる			○						○						○
地方自治	地方自治の仕組みと地方分権における課題を理解する	1. 地方自治に関する基礎知識を理解している		○	○												
		2. 地方分権の基礎知識を理解している		○	○												
		3. 地方自治の今日的課題を説明できる												○		○	○
地域公共政策	地域社会に影響を及ぼす公共政策の立案プロセスや事例、評価方法を理解する	1. 公共政策が決定される立案プロセスを理解している	○	○													
		2. 公共政策の事例や評価方法を理解している			○												
		3. 公共政策が地域に与える影響を理解している			○											○	
まちづくりデザイン	まちづくりとは何かを習得するとともに、市民が行政などと協働してまちづくりに取り組む意義と方法を学ぶ	1. まちづくりに関連する基礎的な知識を習得している		○	○												
		2. 市民主体のまちづくりや協働の意義を理解している		○	○										○	○	
		3. まちづくりにむけた課題発見と考察に積極的に取り組むことができる													○	○	○
現代社会と福祉	現代社会における福祉の意義や福祉の担い手について理解する	1. 福祉の基本的な知識を習得している		○	○						○						
		2. 社会問題に対する福祉(制度、政策も含む)の意義を説明できる		○	○												
		3. 地域住民・NPOなど福祉の担い手について理解している		○	○										○		
コミュニティ心理学	多様なコミュニティの問題を取り上げ、身近な事例を通じてコミュニティ心理学の基本的な発想や実践について学ぶ	1. コミュニティ心理学の基本概念を習得している		○	○												
		2. 社会問題や身近なできごとに対して多角的視点で考察ができる		○	○												
		3. コミュニティアプローチの具体的な実践例を理解している		○	○											○	
社会調査入門	社会調査の意義、歴史、類型などの基本的事項と、社会と統計の関わりを理解する	1. 社会調査の意義と歴史を理解している	○	○													
		2. 社会調査の多様な類型を理解している		○	○												
		3. 社会調査によって収集されたデータと統計のかかわりを理解している		○	○					○							

学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到達 目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある（※1つの達成目標に対して最大3個まで）														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
社会調査法	社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形にまで整理していく具体的な方法を修得する	1. 質問紙調査法に関する計画・実施方法を理解している		○	○												
		2. 社会調査の調査票を作成できるようにする		○		○		○									
		3. アプリで分析できるように、社会調査データをコーディングして入力、編集ができる						○	○								
社会調査実習Ⅰ	社会調査の基本的知識を学び、グループ実習を通じて初歩的な調査技術を習得することを目的とする。調査企画の手順と要点を説明し、授業全体での調査テーマを設定する。グループに分かれて、グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明確化する。質問項目・回答方法の設定の仕方について説明し、グループごとに質問項目と回答方法を検討する。調査票を作成し、グループ間で相互チェックした後、印刷、製本をする。サンプリングについて理解した後、調査対象を決定する	1. 社会調査の基本的知識を習得できる							○								
		2. 社会調査を企画できる							○								
		3. 調査票を作成できる							○								
社会調査実習Ⅱ	社会調査を行う基本的知識や技術を習得することを目的とする。グループに分かれて、調査を実施する。データの集計方法を説明し、調査して得られたデータをコーディングし、パソコンにデータ入力する。データ分析に用いる基本的方法について説明し、各グループの調査目的に沿った分析を決定する。パソコンを用いて分析を行い、分析結果を検討する。分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く	1. 社会調査の基本的技術を習得できる						○		○							
		2. 社会調査を実施できる								○							
		3. 調査データを分析できる								○							
TOEICⅠ	TOEICの試験問題、特に聴解問題に慣れる	1. TOEICの初級レベルの試験問題の特徴を理解している						○									
		2. TOEICの初級レベルの試験問題に正解を出せるようになる						○									
		3. TOEICに頻繁に使われている単語600語を覚える						○									
TOEICⅡ	TOEICの読解試験問題に慣れる	1. TOEICの初級レベルの読解試験問題の特徴(スタイルと頻繁に使われている文法)を理解している						○									
		2. TOEICで使われる読解文をある程度理解している						○									
		3. TOEICに頻繁に使われている単語1000語を覚える						○									
実践英語Ⅰ	キャリア形成学科の各領域が必要とする基礎英語を学ぶ	1. グローバル言語としての英語の重要性を理解している	○			○											
		2. 各分野の事例を考察し、キャリア英語を理解している						○				○					
		3. 各分野の基礎的な語彙を身につける												○		○	
実践英語Ⅱ	キャリア形成学科の各領域が必要とする基礎英語を踏まえて応用的に学ぶ	1. 各分野の事例を考察し、キャリア英語を身につける	○			○											
		2. 各分野の応用的な語彙を身につける						○				○					
		3. グローバル言語としての英語を自分のキャリアに活かすことを理解している												○			○
実践ビジネス英語	ビジネスで役立つ英語の「読み」「書き」の力をつける	1. ビジネス・産業・企業などに関して基礎的な語彙を理解している			○			○									
		2. ビジネス・産業・企業などに関してデータ、報告書、ニュースを理解している						○	○						○		
		3. 英文のメールや手紙の書き方を理解し、書けるようにする						○	○								
実践ビジネス英会話	ビジネスで役立つ英語の「聴く」「話す」力をつける	1. ビジネスに関わる会話を理解している			○			○									
		2. ビジネスに関わる会話を何も見ることなく発声できる						○									
		3. 学習したフレーズを、授業で出てきた以外でのシーンに適用できる						○			○						
セメスター留学	英語コミュニケーション力を発展させ異文化理解を深め、視野を広げる	1. 海外での生活に慣れ、日常会話を理解することができる	○	○													
		2. アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究結果をまとめることができる				○	○										
		3. 異文化を理解し、問題を発見できる									○			○			
長期(1年)留学	英語コミュニケーション力を発展させ異文化理解を深め、視野を広げる	1. 海外での生活に慣れ、日常会話を理解することができる	○	○													
		2. アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究し、上級レベルの英語で研究レポートを書くことができる				○	○										
		3. 異文化を理解し、問題を発見し、英語で研究できる									○			○			
実践中国語Ⅰ	中国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1. 中国語の正しい発音を習得する					○										
		2. 中国語で自己紹介ができる					○										
		3. 中国の文化への理解を深める					○				○						
実践中国語Ⅱ	中国語コミュニケーションのための基礎を発展させる	1. 中国語の基本的な語法を習得する					○										
		2. 中国語で簡単な会話ができる					○										
		3. 中国の社会への理解を深める					○				○						
実践ハングルⅠ	韓国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1. 韓国語のきまり文句を用いて、様々な場面で簡単な会話ができる					○					○					
		2. 韓国語の平易な短文を読み、理解している					○										
		3. 語学の学習を通じて、隣国の生活や社会を知る					○					○					
実践ハングルⅡ	韓国語コミュニケーションの基礎を発展させる	1. 韓国語のきまり文句を用いて、様々な場面で簡単な会話ができる					○										
		2. 簡単な日記や手紙、メールなどの短い文を読み、何について述べられたものなのかをつかむことができる					○										
		3. 語学の学習を通じて、隣国の生活や社会を知る					○					○					
メディカルクラークⅠ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. 医療保険制度の基礎知識を理解できる			○	○											
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し点数計算算定ができる			○			○									
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる			○		○										
メディカルクラークⅡ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. 医療機関において患者接遇・受付の基礎ができる			○					○	○						
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し点数算定ができる			○			○									
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる			○	○											
メディカルクラーク応用	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. 診療録(カルテ)を正しく読むことができる			○		○										
		2. 診療報酬明細書の読みを発見できる			○	○											
		3. 医療事務技能審査に向け時間内に向けての解答できる			○		○										
ドクターズクラークⅠ	医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる			○												
		2. 医学一般・薬学一般を身につける			○												
		3. 各種医療文書を作成できる			○	○		○									
ドクターズクラークⅡ	医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラークの資格取得を目標とする	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる			○		○										
		2. 医学一般・薬学一般を身につける			○												
		3. ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける			○	○				○	○						
ケアクラーク	ケアクラーク技能認定試験＝ケアクラークの資格取得を目標とする	1. 介護保険制度の基礎知識を理解できる			○												
		2. 介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる			○	○		○									
		3. 介護給付費明細書の記載要領を理解できる			○		○										
調剤報酬請求事務	調剤報酬算定の技能を身につける	1. 医療保険制度を理解できる			○												
		2. 調剤報酬明細書の作成、点検ができる			○	○		○									
		3. 患者接遇と受付実務を身につける			○						○	○					

学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到達目標	ディプロマポリシーの項目番号														
			○：DP達成のために設定された到達目標と関連性がある（※1つの達成目標に対して最大3個まで）														
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9	DP10	DP11	DP12	DP13	DP14	DP15
公務員特別演習基礎	公務員試験の合格を目指すための、社会科学に関する基本的な知識を身につける	1. 政治・法律の基礎的な知識を身につける	○														
		2. 経済の基礎的な知識を身につける		○													
		3. 社会の基礎的な知識を身につける		○	○												
公務員特別演習応用	公務員試験の教養試験において必要とされる自然科学の知識を身につけ、それらを現実の試験に対応させ得る力をつける	1. 数的推理、判断推理の基礎知識を身につける							○								
		2. 自然科学(特に地学・生物)の知識を身につける	○													○	
		3. 過去問題や演習に多く触れ、実際の試験問題の傾向を捉える		○												○	
公務員特別演習発展	公務員試験の教養試験に必要な人文科学の知識を身につける	1. 文章理解の基礎的な知識を身につける				○											
		2. 日本史・世界史の基礎的な知識を身につける	○									○					
		3. 地理の基礎的な知識を身につける	○														
公務員特別演習（総合）	公務員試験の合格を目指すために、自治体が求める人材像を理解し、必要な知識・技能・態度を身につける	1. 公務員試験で求められる知識を理解し、実践力を養う	○			○			○								
		2. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を面接で表現できるようにする											○			○	
		3. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を論文で表現できるようにする				○										○	